

診療科
呼吸器内科

疾患名
非小細胞肺癌

レジメ名
CBDCA+RT療法

投与間隔
1コース 6 週間 計 1 コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日			
						day1～5	day8～12	day15～19	day22～26
カルボプラチン	カルボプラチン	CBDCA	30mg/m ² /day	div	30min	●	●	●	●

備 考
実施手順:放射線療法開始1時間前よりの開始を心がける。 CBDCA30mg/m²+生理食塩水 100mL 30分で投与。
予想される副作用:好中球減少、血小板減少、肺臓炎、発熱性好中球減少症、食道炎
毒性を認める場合はCBDCA and/or 放射線療法を休止する。原則としてG-CFSを使用しない。
CBDCA休止基準
好中球<1,000/mm³、血小板<50,000/mm³、AST・ALT>それぞれ150IU/L、総ビリルビン>2.5mg/dL、クレアチニン>1.5mg/dL、発熱≥Grade1
肺臓炎:SpO₂が持続的に90%未満となる場合、あるいは放射線照射に一致するかそれよりも狭い範囲に陰影が限局するGrade2以上の
肺臓炎の兆候が見られた場合
食道炎>Grade3、発熱性好中球減少症>Grade3、感染>Grade3
CBDCA再開基準
好中球≥1,500/mm³、血小板≥100,000/mm³、AST・ALT≤それぞれ100IU/L、総ビリルビン≤2.0mg/dL、クレアチニン≤1.2mg/dL、発熱≤37.0
肺臓炎:再会しない、食道炎≤Grade2、発熱性好中球減少症≤Grade0、感染≤Grade0
放射線療法休止基準
好中球<500/mm³、血小板<25,000/mm³、発熱≥Grade1、食道炎>Grade3、放射線性皮膚炎>Grade3、発熱性好中球減少症>Grade3、感染>Grade3
肺臓炎:SpO₂が持続的に90%未満となる場合、あるいは放射線照射に一致するかそれよりも狭い範囲に陰影が限局するGrade2以上の
肺臓炎の兆候が見られた場合
放射線療法再開基準
好中球≥1,500/mm³、血小板≥100,000/mm³、発熱≤37.0
肺臓炎:再開しない、食道炎≤Grade2、放射線性皮膚炎≤Grade2、発熱性好中球減少症≤Grade0、感染≤Grade0

登録年月日
2021年 3月 3日

登録No.
No. 465